

指導者名 ()

氏名 ()

**(1)たんの吸引「実地研修」
口腔内・鼻腔内吸引(通常手順) 指導者評価票**

あなたが指導している介護職員は下記の**業務内容**について、どの程度達成できているか該当する番号を記入して下さい。
※業務内容については、手引きの留意事項・考えられる主なりスクを参照のこと。

達成度	ア. 1人で実施し、手引きの手順通りに実施できている
	イ. 1人で実施しているが、手引きの手順を抜かしたり間違えており、実施後に指導した
	ウ. 1人で実施しているが、手引きの手順を抜かしたり間違えており、その場で指導した(その場では見過ごせないレベル)
	エ. 1人での実施を任せられるレベルにはない

回数		例	()回目	()回目	()回目	()回目	()回目	
月日		10.5						
時間		14:00						
準備	1 医師の指示等の確認を行う	ア						
	2 手洗いを行う	ア						
	3 必要物品をそろえ、作動状況等を点検確認する	ア						
	4 必要物品を利用者のもとの運ぶ	ア						
実施	5 利用者に吸引の説明をする	ア						
	6 吸引の環境・利用者の姿勢を整える	ア						
	7 口腔内・鼻腔内を観察する	ア						
	8 手袋の着用またはセッシンを持つ	ア						
	吸引の実施	9 吸引チューブを清潔に取り出す	ア					
		10 吸引チューブを清潔に吸引器と連結管で連結する	ア					
		11 (浸漬法の場合)吸引チューブ外側を清浄綿等で拭く	ア					
		12 吸引器の電源を入れて水を吸い決められた吸引圧になることを確認する	ア					
		13 吸引チューブの先端の水をよく切る	ア					
		14 利用者に吸引開始について声かけを行う	ア					
		15 適切な吸引圧で適切な深さまで吸引チューブを挿入する	ア					
	16 適切な吸引時間で分泌物等の貯留物を吸引する	ア						
	17 吸引チューブを静かに抜く	ア						
	18 吸引チューブの外側を清浄綿等で拭く	ア						
	19 洗浄水を吸引し、吸引チューブ内側の汚れを落とす	ア						
	20 吸引器の電源を切る	ア						
	21 吸引チューブを連結管から外し保管容器に戻す	ア						
22 手袋をはずす(手袋を使用している場合)またはセッシンに戻す	ア							
23 利用者に吸引終了の声かけを行い、姿勢を整える	ア							
24 吸引物及び利用者の状態を観察する	ア							
25 利用者の吸引前の状態と吸引後の状態変化を観察する	イ							
26 吸引後に経鼻経管栄養チューブが口腔内に出てきていないかを観察する(経鼻経管栄養実施者のみ)	ア							
27 手洗いをする	ア							
報告	28 吸引物及び利用者の状態を報告する	ア						
	29 吸引後に経鼻経管栄養チューブが口腔内に出てきていないことを報告する(経鼻経管栄養実施者のみ)	ア						
	30 ヒヤリハット・アクシデントの報告をする(該当する場合のみ)	イ						
片付け	31 吸引びんの排液量が70%~80%になる前に排液を捨てる	イ						
	32 使用物品を速やかに後片付けまたは交換する	ア						
記録	33 実施記録を記載する	ア						
アの個数※		30						
医行為実施対象者番号								
※手引きの手順を抜かしたり、間違えた内容を具体的に記述して下さい。								
手引きの留意事項・考えられる主なりスク等に記載されている細目レベルで記述								